



Yonago East Weekly

【 素敵なロータリアンを目指そう、思いやりの心を持って 】

- 創立 / 1968年4月24日 ● 事務所 / 米子市西福原1-1-55 スマイルホテル米子 Tel (0859) 32-5531
- 例会日 / 水曜日12:30~13:30 ● 例会場 / ANAクラウンプラザホテル米子
米子市久米町53-2 Tel (0859) 36-1111
- 会長 / 長棟信泰 ● 幹事 / 永島正道 ● 会報 / 赤山俊寛

出席報告

会員数 108 名
 出席数 63 名 欠席数 42 名
 出席免除会員 6名 荒川(雄)君 杉原(弘)君
 新納君 佐田山君(有) 宮本(守)君 高橋君
 出席率 60.00 %

ビジター

メイクアップ

林君(7/24インターアクト地区大会Web会議)
 理事9名(7/28理事会)

今週のお祝

結婚記念日祝: 19日 小谷維夫君
 スマイルBOX 14,000 円 (296,000 円)
 出席100%祝: 今出君、石井君、小林君、諸遊君
 夫人誕生祝: 小土井君 結婚記念日祝: 小土井君、
 鷺見(雄)君 創立記念日祝: 鷺見(雄)君、谷野君
 リーダー退任: 小林君

会長挨拶



米子松蔭高校の学校関係者に新型コロナウイルス感染者が出たとの事で、全国高校野球選手権鳥取大会の出場を辞退されたという話題が全国版で報じられました。その後、部員に濃厚接触者がいなかった事が判明し、米子市を始め関係者の方々の尽力によって、救済策で出場が認められることとなりました。

コロナ感染報道が世の中を暗くし、明るい話題であるはずの東京オリンピックが間もなく始まるのに、世間は非常に暗い状況、そんな中で、この米子松蔭高校の一件は、希望の光であったなと昨日の報道を見て強く感じました。北海道から九州、色々な方が応援をされておられたということ、ニュースでもかなり強調されており、本当に喜ばしいお話だったと思います。

我々も希望を持って笑顔で毎日生活をしていく、そして、このような集まりの中でも、声をかけあって日々の生活が送れることが理想です。

今後も、会員の皆さんの熱意を感じながら、事業に一生懸命参画していく所存です。

幹事報告

- (1) 本日例会終了後、必ずお弁当を持ち帰って下さい
- (2) 7/28(水) 休会
- (3) 新社屋完成のご案内
(8/1よりサンイン技術コンサルタント(株)の新社名 (株)エスジーズになります)
- (4) 当該年度インターアクターへのガバナー表彰について(地区ガバナーより)
* 3年生の部員がいないため、該当者無し)
- (5) RI2680地区 2020-21年度「会員維持増強物語—ロータリアンでよかった—」
2018-19年度「会員増強物語—ベスト60人の心—」 (RI第2680地区ガバナー事務所より送付)
- (6) 10/2第19回ロータリー全国囲碁大会のご案内
(東京・市ヶ谷の日本棋院本院にて)

次回プログラム

- 8/4 臨時休会
- 8/11 休会
- 8/18 臨時休会
- 8/25 納涼夜間例会中止
(休会)
- 9/1 休会

7/21持ち帰り弁当



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために
SERVE TO CHANGE LIVES

<本日のプログラム>

理事抱負 尾沢 三夫 会場監督(SAA)



SAA会場監督ということでございますが、いわゆる会場の中の全ての責任をとるのが会場監督。これは会長ではないんですね。例会の運営に関しての全ての責任はSAAにあるんだと、こういう風に教えられておりました、出来る事ならば、みんなが気分よく、気持ちよく例会を運営、過ごして頂ければという風に思っております。

ロータリーにとって3つ大切な事がありますが、最も大切なのは、例会の参加とこういうことになっております。例会には是非参加をして頂きたい。そして楽しい時間を過ごして頂きたい。多くの人々と触れ合って頂きたい。そして知り合いになって頂きたい。その知り合った人たちが自分の人生の一つの幅っていうものになっていくという風に思っております。どうぞ、ロータリーを十分に活用頂きまして、自分の幅を広げて頂ければありがたいなという風に思っております。

一年間不束ではございますがSAA会場監督を務めさせていただきます。どうぞよろしく願い致します。

の時代が変わってきています。その多様化の中でロータリーもその多様化に対応したやり方、昨年度からZOOMで会議に参加できるようなこともやってきた色んなことで新しい事をチャレンジされる。そうした長棟会長そして永島幹事にしっかり勉強させて頂いて来年度に続けていけたらなという事で抱負に代えさせていただきます。ありがとうございました。

特別委員会紹介

佐田山有史 ソウル芸場RC交流特別委員長



米子東ロータリークラブと韓国ソウルの芸場ロータリーと、元々どのようにしてこの交流が始まったかということ、簡単に説明したいと思います。

去る2009年4月27日にソウルで調印式を致しましたが、この時は会長が杉原弘一郎会長の時でした。杉原会長が当時、大阪にある韓国文化院に問合せをし、韓国の文化院の方からソウルにある芸場ロータリーの紹介を頂きました。芸場ロータリーは会員数は非常に少ないんですけども、元々、漢字に変換すると、「芸術の場」と書きます。芸術の場という、そういう地域ともう一つはそのクラブの会員に文化人が多いということで、例えば大学の教授や国宝級の方、芸能界の方等の中に含まれていて、芸場ロータリーという名前をつけたということです。来年創立30周年を迎えるようですけども、この間に米子東ロータリーから韓国には5回訪問しております。そして、芸場ロータリーの方からは3回、日本に来訪され双方で合計8回、だいたい各年で交流をやって参りました。

今日、このように発表するにあたって、今年度の芸場ロータリーのコウ・ジュヒョン会長よりメッセージを頂きましたので、この場で代読させて頂き、報告とさせていただきます。

「尊敬する 米子東ロータリー友人の皆さん コロナ禍の中いかがお過ごしですか。今年こそはコロナパンデミックが終わり、米子東ロータリークラブを訪問出来るものと思っていましたが、未だ状況が良くならず、とても残念です。私は個人的に2000年から1年に2~3度米子を訪問していましたが、昨年から米子に行くことが出来ず、米子のことが私の脳裏から離れる事がありません。今でも時々米子の海の波の音が耳元に聞こえ、雄大な大山が険に浮かびます。米子で食べた料理、そしてガンバリウスでのビールが懐かしいです。しかし、何よりも米子東ロータリーの友人の皆様を懐かしく思えてなりません。コロナパンデミックが過ぎ、皆様にお会いできることを楽しみにしています。それまでご健勝にお過ごし下さいませよう、お願い申し上げます。

ソウル芸場ロータリークラブ会長コウ・ジュヒョン」来年は是非とも皆さんと一緒に交流を深めていきたいと思っております。どうもありがとうございました。

<理事抱負> 上森 英史 副会長



今年度の抱負という事ですが、私自身、今回の米子松蔭高校の全国高校野球選手権鳥取大会の出場を辞退、不戦勝に関して大会出場が認められる策が無いものか色々模索しました。

しかし、一回決まったことは覆す事は無理であろう、従って今更、松蔭高校が大会出場という事は出来ないんだろうと思っていました。しかしながら、私が思案している間に米子松蔭高校野球部の主将の西村虎之助君が自らTwitterにあげて、全国に呼び掛けた。そして、そのTwitterが、日本中の人を動かして、不戦勝取り消しとして今日大会に出場し、今、正に試合をやってる最中です。松蔭高校の校訓の中に「未来を生き抜く力を育てる」という校訓があるようです。生徒にしっかりそういうことを教えて、子ども達が最後まで諦めないということ、日々教育の中で教えられている。そういったところがこういうことで出たんじゃないかなと改めて生徒がやったことに関しては感銘を致しました。試合の結果はともかく大人がもうこれだという風な今までやってきたことの既成概念で物事を進めてしまうと、それ以上進まない。そういうことを改めて今回の事で、我々大人、特にロータリーという中で、我々が次世代の子供たちに何が出来るかという風なこと、作文コンテスト等々も含めて、今世界が多様化